

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

September / 9 / 2016 # 42

---

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね！

---

## INDEX

[1] 旬な話題、気になる話題

『コンクール審査員』

[2] Pepeのひとりごと

『今年もやります、NSO!』

[3] おすすめ動画

『Excerpt recordings』

『Sliding through the operas with Lars Karlin and Tomer Maschkowski』

[4] 演奏のヒント！

『リップスラー Part 3』

[5] 編集後記

---

[1] 旬な話題、気になる話題

『コンクール審査員』

先日、久しぶりにソロ・コンクールの審査員を務めさせていただきました。管楽器の審査をやらせていただいたのですが、しっかりと準備をした演奏をたくさん聴くことができました。

いつも思うことなのですが、たくさんの人（特に若い人たちが）がソロのコンクールにチャレンジしていくことは、とてもいいことだと僕は思っています。

どんだんいろいろなことにチャレンジしてもらいたいですね！

で、今回審査を務めさせていただいたコンクールを聴いて思ったことは、みんな、しっかりと練習をして来てはいるのですが、気になったのはその練習のやり方や内容です。

演奏を聴くと、どのようなことに注意しているか、どのような練習を  
していてどのような練習をしていないのか、ということは大体わかります。  
そして、専門的にレッスンを受けているのだろうと思われる人の演奏と、  
そうではない人の演奏には、けっこうな差があります。

せっかく勇気を出してソロのコンクールを受けるのだから、ちゃんとした  
レッスンを受けてから挑んだほうが、コンクールが終わってからの  
自分のためにもなると思います（入賞することだけが目的では  
ありませんからね）。

これからの時期も、ソロのコンクールというのはいろいろとあると思います。  
これまで経験したことない人も、ぜひ勇気を出してソロ・コンクール  
にも出てみてくださいね！  
身も心も、一段と成長できる経験がきっとできると思いますよ！！：)

## [2] Pepeのひとりごと

『今年もやります、NSO！』

今月のひとりごとは、宣伝です（笑）。

10月4日（火）、19時から（18時開場）神戸文化ホール、中ホールで  
NSO(Non Strings Orchestra)のコンサートがあって、僕も出演します。

NSOとは、オーケストラのコントラバス以外の弦楽器のパートを  
すべてクラリネット演奏してみる！という世界初の試みをやる  
オーケストラのことです。

僕は第1回目の公演から出演させていただいているのですが、今年で  
もう3回目となります。

今年のプログラムは、シベリウス作曲の「フィンランディア」、  
モーツァルト作曲の「オーボエ協奏曲（ソリストは宮村和宏さん）」、  
そしてチャイコフスキー作曲の「交響曲第6番」となっています。

チケットは、僕へメールで問い合わせてもらっても用意をすることが  
できます（割引あり！）。

コンサートのチラシや詳細は、僕のウェブサイトの「コンサート情報」  
からどうぞ！！

<http://www.pepeabe.com/J/pg128.html>

世界初の試みです。

ここでしか聴けない演奏を、ぜひ聴きに來てくださいね～！ :D

### [3] おすすめ動画

『Excerpt recordings』

<https://www.youtube.com/watch?v=hC6XT-S3C1U&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=7>

今月は、Tromboneの動画を2つ。

まず一つ目は、皆さんご存知New York Philharmonicの首席TromboneのJoe Alessi氏の新しいプロジェクトの動画です。

日本で「オーケストラ・スタディ（通称オケスタ）」と呼ばれているOrchestra Excerptsを、彼自身がAlessi Music Studiosという名で動画を撮っていくそうです。

これは楽しみですね！！ :D

『Sliding through the operas with Lars Karlin and Tomer Maschkowski』

<https://www.youtube.com/watch?v=YN8dQEaPBwE&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=6>

2つ目の動画は、友人Lars(Karlin氏)の演奏です。

頻繁に連絡を取り合っているわけではないので彼の近況は知らなかったのですが、今、ドイツのオーケストラで吹いているようです

（スウェーデンのオーケストラでずっと吹いているものだとてっきり思っていました。ちなみに、彼はスウェーデン人です。笑）。

なんとなく日本ではAlto Tromboneを苦手、もしくはあまり好きではないという人が多いような印象を僕は持っているのですが、北欧では音楽学校の試験ではよく課題に挙がるようですし、オーディションでもよくソロの課題が出てきます。

彼も、とっても簡単そうに演奏しています。

いい刺激を受けました～！ :)

ちなみに、楽譜の販売もしているようですよ。

興味のある人はどうぞ！

<http://www.wyncrestmusic.com>

### [4] 演奏のヒント！

『リップスラー Part 3』

前号では、リップスラーの練習の際に、同じ音を求めるために同じアンブシュアにこだわらない、ということを書きました。

(今号から読み始めた方は、ぜひ前号、前前号も読んでみてくださいね。過去のものも無料で読めますよ)

いろいろと新しい発見があったと思いますが、実際にやってみていかがでしたか？

今号はその続き、音のつなげ方(なめらかに吹くため)の練習について書きますね。

前号で書いた、3つの音でやるリップスラーは3種類の音「だけ」で吹く、5つの音でやるリップスラーは5種類の音「だけ」で吹く、ということができるようになれば、あともう少しです！

次は、音を変えるタイミングをしっかりと見定めるようにしてみましよう。

「あのタイミングに間に合えばいい」という適当な感じではなく、「あのタイミング以外に音を変えるチャンスはない！」というような感覚です。:)

もう一つは、「音を変えるタイミング」と同時に、今吹いている音を「いつまで吹くか」ということを考えてみましょう。

もちろん、最後まで音程、音質などを保った音を、「いつまで吹くのか」ということに注意を向けます。

「次の音を吹き始めるタイミング」

と

「今の音を吹き終わるタイミング」

が同じになるように考えるんです。

そして、音はどのように上下に動いても、音の種類が増えないようにコントロールして！

この順番で練習をしていくと、音のコントロールはある程度できるようになっていると思うので(前号で書いた、同じアンブシュアということにとらわれないように吹けるようになっていけば)、音と音の間に隙間ができないように音を変えることができるようになっていきたいと思います。

音と音の間に隙間がなくなり、音の変わり目に段差がなくなると、  
あら不思議！音がなめらかに繋がっていることに気づきましたか？？

そう、これがなめらかに吹くリップスラーなんです。 :D

このテクニックは、リップスラーの時だけではなくいろいろな  
レガートのときに役に立つので、ぜひいろいろなところで  
やってみてくださいね！！ :)

---

#### 編集後記

あっという間に月日は流れ、もう9月になりました。  
今年もあと4ヶ月を切りましたよ。  
みなさん、今年のやり残しはいくつありますか？

僕は、今年のうちに一つでも演奏（ピアノとの）の動画を  
YouTubeにアップしたいなあ、と思っています。

あと3ヶ月以上はある。 :)  
しっかりと準備をして、今年のうちにやりたいと思っています！

みなさんも、2016年を悔いの残らない年にするため、今から  
準備をしてみませんか？

---

阿部 竜之介(Pepe) オフィシャルウェブサイト

<http://www.pepeabe.com>

ご意見、感想、質問などはメールでどうぞ！

[info@pepeabe.com](mailto:info@pepeabe.com)